



# そして僕は

# 紀行作家になった

紀行作家・バックパッカー 齊藤政喜

塩尻市北部交流センター（えんてらす）  
1階 101・102会議室

定員／90人（先着順） 参加費／無料

【申し込み】 申込開始 5月9日(火) 9:00～

広丘支所窓口、電話（0263-52-0305）、メール。

メールの場合は次の内容をお送りください。

宛先 hirooka@city.shiojiri.lg.jp

件名 「5/28 本の寺子屋申込」

本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)

2 代表者電話番号

3 お住まいの地区

4 この講演を知ったきっかけ

2023年

5月28日(日)

14:00～16:00

開場13:30



## 〈講師プロフィール〉



### 齊藤 政喜(さいとう まさき)

1961年松本市出身。地球を歩く紀行作家。学生時代に揚子江を単独で下ったことがきっかけで、フリーランスの物書きになる。1990年に東海自然歩道を踏破する紀行文を雑誌『BE-PAL』に連載。ネパール帰りであり、読者を歩く旅にいざなうことから、山岳ガイドの代名詞である

『シェルパ』を冠したシェルパ齊藤になる。以降、アウトドア雑誌を中心に紀行エッセイを30年以上連載中。1995年に東京から八ヶ岳山麓に移住し、自らの手で家をつくり、火を中心とした自己完結型の田舎暮らしを楽しむ。季節ごとに国内のトレイルを歩き、年に1度のペースで海外のロングトレイルも歩くが、バックパッキング以外にも自転車、オートバイ、ヒッチハイク、耕うん機による日本縦横なども楽しむ自由型の旅人。著書に『シェルパ齊藤の行きあたりばっ旅1～5』（小学館文庫）、『犬連れバックパッカー』（新潮文庫）、『東方見便録』（文春文庫）、『シェルパ齊藤の遊歩見聞録』（小学館）、『シェルパ齊藤の親子旅20年物語』（産業編集センター）など、著作は30冊を超える。最新刊は『市民タイムス』の人気連載をまとめた『あのとき僕は シェルパ齊藤の青春記』（しなのき書房）。